



藤原一家に春が来た～!

ソウタパパ赤中戦シードで頂点へ

ソメイヨシノが散り八重桜が満開となった平和公園で、4月8日(日)第12回ベーゴマトライアスロンが開催され、赤中戦トップで決勝トーナメントにシードされたソウタパパが、決勝戦で予選7位のハルクを振り切り初栄冠を勝ち取った。また、子ども王も息子のソウタが獲得し、藤原家でタイトルベアを総なめだ。

ペチャ戦はソウタ、角六戦はちかパパ

赤中、ペチャ、角六タイプの3種類で戦うベーゴマトライアスロンは、ベーに精通していなければ勝ち残れない。それぞれ特徴の違うベーを操る技量が問われるのだ。しかも、朝11時から夕方4時までのロングランを駆け抜けなければならないから、まさに鉄人レース。その予選は赤中戦、ペチャ戦、角六戦の順に行われ、各戦いのトップには決勝トーナメントベスト8のシード権が与えられる。誰もが必死にそのシード権を狙うが、赤中戦のトップはソウタパパ、ペチャ戦はソウタ、角六戦はちかパパがそれぞれ手に入れた。

ハルクあと一歩で永世鉄人を逃す

第3回と第9回で優勝し、永世トライアスロンにリーチをかけているハルクは、予選7位からのスタートだ。予選は3種類とも80点の出来。まずまずだ。ハルクの強みは何と言っても場慣れしていることだ。ここぞという時にその力が発揮される。その洗礼を最初に受けたのがジョージだ。そしてシードのソウタ、さらにシードのちかパパをねじ伏せ、決勝戦に臨む。

一方、赤中戦トップ、ペチャ戦2位、角六戦4位のソウタパパは、予選トップで決勝トーナメントに挑む。これだけの成績で決勝トーナメントに進んだことはない。自信の裏付けがあるから決勝トーナメントでもその力を存分に発揮し、ベスト8でゆうた、準決勝で奥田パパを



ソウタ、ソウタパパ おめでとう!



ストレートで破り初の決勝戦となった。

剛のハルクに柔のソウタパパ、二人のベーが火花を散らす決勝戦。まず一本目は赤中だ。ここはシードのソウタパパが有利と見たが、あにはからんやハルクが飛ばしたではないか。これだから決勝戦は分からない。しかし、ソウタパパは落ち着いている。次のペチャで1本取り返しタイに戻す。さすがペチャ戦2位は伊達じゃない。すると、今度はハルクが珍しく床外しで崖っぷちに立つ。ソウタパパあと一本で念願の初タイトルだ。ところが、今度はソウタパパが床外しときたではないか。初優勝の文字が頭をよぎったか、手が微妙に狂ったようだ。これで2対2、さあ、あと一本、この一本で決着が着く。使うベーは角六、百戦錬磨のハルクか、それとも本日絶好調のソウタパパか。息を呑み見守る観衆、チッチノチの掛け声で同時にベーが入ると『パチーン』乾いた音とともにハルクベーが床の外へ。ソウタパパの初優勝だ。柔和な笑顔でハルクと握手を交わすソウタパパ、これでやっと息子に追いつきました。



子ども王は巴戦の末ソウタがゲット

子ども王は、ソウタ、ゆうひ、ゆうたの3人がベスト8に入り、巴戦となった。ベーゴマ3種類を順に使い、2勝すると勝負ありだ。まずはジャンケンでゆうひとゆうたの対決、これをゆうたが取り、次にソウタとの対戦はソウタが取り、代わってゆうひ対ソウタ戦となり、これをソウタが取って2勝、ソウタの子ども王が決まった。親子で優勝は格別だね、ソウタ。

バロンドールは松ちゃんが依然トップ

2018NIBバロンドールは、トップの松ちゃんがベスト8で2点追加し、以前トップを堅持した。2位には同じくベスト8のゆうたと、今回優勝で予選落ちのマックスを抜いたソウタパパが躍進した。4位マックス、5位にタイキローとソウタだ。まだそんなに差は広がっていない、しばらくはデッドヒートが続くか。

ガチホンコはとーさん成田が8回目

トライアスロン戦の本チャンで13位、惜しくもあと0.5ポイントで決勝トーナメント出場の機会を失ったとーさんが、その鬱憤を晴らすかのようにガチホンで大暴れた。まみい、ハッシー、ヒデさん、小出っち、松ちゃんを次々に弾き出す。松ちゃんは決勝戦でとーさんに負けたのが4回目だと。とーさん成田、これで最多8回目の全部取り、凄すぎないか。どんだけ～！



先人の造ったコマに魅せられて鉄人

松ちゃんの天敵はタイキローととーさんとマックス